

令和7年8月臨時会

令和7年8月5日（火曜日）

◎ 出欠席議員氏名

丹野貞子 議長 吉田芳美 副議長

出席議員（14名）

1番 漆山光春 議員	2番 東海林信弘 議員	3番 林智 議員
4番 増川憲一 議員	5番 安孫子真弥 議員	6番 木村章一 議員
7番 奥山英幸 議員	8番 安達智勇 議員	9番 佐藤修二 議員
10番 鈴木英友 議員	11番 石垣光洋 議員	12番 細矢誓子 議員
13番 吉田芳美 議員	14番 丹野貞子 議員	

欠席議員（0名）

◎ 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

真木秀章 事務局 局長 田川美和子 専門 員
岡崎美穂 議事 係 長

◎ 説明のため議場に出席した者の職氏名

森谷俊雄 町 長	河内耕治 副 町 長
板坂憲助 教 育 長	日塔俊浩 防災・危機管理監兼 総務課 長
茂木毅史 防災危機管理課 防災危機管理係長	牧野隆博 政策推進監兼 企画財政課 長
日下部敦子 暮らし応援課長	今田史明 生活環境企画主幹
軽部昭博 税務町民課長	矢作 勲 健康福祉課長
池田恵子 こどもみらい課長	佐藤晃一 農林振興課長併 農業委員会事務局長
軽部広文 商工観光課長	奥山明子 雛とべに花の里推進主幹
土方一郎 都市整備課長	松田浩一 上下水道課長
鈴木淳子 会計管理者兼 会計課 長	宇野 勝 学校教育課長
秋場弘昭 生涯学習課長	

◎ 議 事 日 程

令和7年8月5日（火） 午前9時開会、開議

議事日程第1号

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸報告

(1) 町長報告

日程第4 議案の上程

議第40号 河北町総合交流センターサハトベに花冷温水発生機等更新工事請負契約の締結について

議第41号 災害用自動ラップ式トイレの取得について

議第42号 災害備蓄品の取得について

日程第5 議案の審議、採決

議第40号 河北町総合交流センターサハトベに花冷温水発生機等更新工事請負契約の締結について

議第41号 災害用自動ラップ式トイレの取得について

議第42号 災害備蓄品の取得について

閉 会

◎ 本日の会議に付した事件

議事日程第1号のとおり

◎ 開 議

午前9時

○丹野貞子議長 おはようございます。

本日の欠席通告議員はありません。

ただいまの出席議員数は14名であります。

定足数に達しておりますので、令和7年8月河北町議会臨時会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

なお、大泉防災危機管理課長が欠席しておりますので、茂木防災危機管理課防災危機管理係長の出席を認めております。ご了承願います。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

○丹野貞子議長 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、議長から指名します。

8番 安達 智 勇 議員

5番 安孫子 真 弥 議員

の両名を指名します。

○丹野貞子議長 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期については、本日1日限りとしたいと思います。これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日限りとして決定しました。

○丹野貞子議長 日程第3、諸報告を行います。

町長報告を行います。町長から、本臨時会において、報告したい旨の申出がありますので、これを許可します。

「森谷町長」

○森谷俊雄町長 おはようございます。

本日、令和7年8月河北町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様にはご多忙のところお集まりいただき、厚くお礼申し上げます。

本臨時会において、報告すべき事項がございますので申し上げます。

損害賠償に関する専決処分の報告について申し上げます。

去る令和7年3月14日、河北町立河北中学校敷地において発生した案件の損害賠償について、地方自治法第180条第1項の規定により、専決処分をさせていただいたものであります。専決処分の内容につきましては、お手元に配付のとおりでございますので、同条第2項の規定により報告とさせていただきます。

以上、ご報告申し上げます。

○丹野貞子議長 以上で、町長報告を終わります。

以上で、諸報告を終わります。

○丹野貞子議長 日程第4、議案の上程を行います。

議第40号 河北町総合交流センターサハトベに花冷温水発生機等更新工事請負契約の締結について

議第41号 災害用自動ラップ式トイレの取得について

議第42号 災害備蓄品の取得について
以上3議案を一括上程します。

○丹野貞子議長 日程第5、提案理由の説明を行います。

提案者から提案理由の説明を求めます。

「森谷町長」

○森谷俊雄町長 本日ご提案申し上げております議案につきまして、ご説明申し上げます。

議案第40号河北町総合交流センターサハトベに花冷温水発生機等更新工事請負契約の締結について申し上げます。

去る7月25日、3者による条件付一般競争入札を執行いたしましたところ、山形空調株式会社代表取締役齋藤吉男が落札し、1億3,860万円で契約するものであります。工事内容は、河北町総合交流センターサハトベに花冷温水発生機等更新工事一式で、工期は令和8年3月23日までとしております。

次に、議第41号災害用自動ラップ式トイレの取得について申し上げます。

去る7月25日、3者による指名競争入札を執行いたしましたところ、日本防災工業株式会社山形営業所所長濱田善弘が落札し、1,173万1,500円で契約するものであります。購入セット数は30セットで、納入期限は令和8年3月19日までとしております。

次に、議第42号災害備蓄品の取得について申し上げます。

去る7月25日、3者による指名競争入札を執行しましたところ、日本防災工業株式会社山形営業所所長濱田善弘が落札し、2,758万8,000円で契約するものであります。購入台数は避難用テント900台、避難用ベッド1,500台で、納入期限は令和8年3月19日までとしております。

以上、本臨時会に提案いたしました3議案についてご説明申し上げましたが、ご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げます。

○丹野貞子議長 以上で提案理由の説明を終わります。

○丹野貞子議長 日程第6、議案の審議、採決を行います。

お諮りします。議案が事前に配付されてお

りますので、審議の際の議案の朗読は省略したいと思います。これに異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、議案の朗読は省略することにします。

最初に、議第40号河北町総合交流センターサハトベに花冷温水発生機等更新工事請負契約の締結についてを議題とします。

担当課長の説明を求めます。

「秋場生涯学習課長」

○秋場弘昭生涯学習課長 議第40号河北町総合交流センターサハトベに花冷温水発生機等更新工事請負契約の締結について申し上げます。

去る7月25日、条件付一般競争入札を執行しましたところ、鶴岡市大字大淀川字洞合22番地、山形空調株式会社代表取締役齋藤吉男が落札し、1億3,860万円で契約するものであります。

本工事は、冷温水発生機等更新に係る管工事一式であり、工期は令和8年3月23日までとしております。

以上よろしく願いいたします。

○丹野貞子議長 担当課長の説明が終わりました。

質疑に入ります。

質疑の通告を求めます。

（6番、10番、12番通告あり）

6番と10番と12番ですね。

確認します。6番木村章一議員、10番鈴木英友議員、12番細矢誓子議員、落ちありませんか。

それでは、「6番木村章一議員」

○6番（木村章一議員） サハトベに花の冷温水発生装置の更新でありますけれども、昨今、特に、環境といいますかCO₂の発生によって気候危機が起こっておりますが、これに対応するように、この熱交換器の更新でCO₂の発生がどれだけ削減できるか。これまでどのぐらいあって、今度このぐらいになるだろ

うという見込みについて説明を求めます。

○丹野貞子議長 「秋場生涯学習課長」

○秋場弘昭生涯学習課長 CO₂の発生ということで、お問合せであります、これまでも重油、A重油を使って対応しております。このたびの更新につきましても、施設の面積、容量からいきまして、やはり重油を使わざるを得ない状況にもありますので、CO₂の発生等につきましてもこれまでどおりということになるかと思っております。

今の数値的なところは持ち合わせてございませんので、はっきりとした、削減というよりも、これまでどおり、従来どおりというような対応になります。

○丹野貞子議長 「6番木村章一議員」

○6番（木村章一議員） 温水の場合はその重油で温めるというだけでありましようが、冷水も、冷温水の発生装置ですからね、冷水の場合はその熱源を使って熱交換器を動かして、そこで冷水が発生するというようになると思っておりますので、その場合にはその装置、サーモポンプがですね、10年ぐらい前から著しく性能が上がっておりますので、そこを交換すればかなりCO₂は削減できるのではないかと思います。そういうことではないのでしょうか。

○丹野貞子議長 「秋場生涯学習課長」

○秋場弘昭生涯学習課長 できるだけ、CO₂発生を抑制するようなことで、業者と、あるいは設計業者とも協議、相談をしながら進めてまいりたいと思っております。

○丹野貞子議長 「6番木村章一議員」

○6番（木村章一議員） 詳しく調べて報告いただければと思います。いかがですか。

○丹野貞子議長 「秋場生涯学習課長」

○秋場弘昭生涯学習課長 改めて、その状況等について確認をしながら報告はさせていただきたいと思っております。

○丹野貞子議長 以上で、6番木村章一議員の質疑を終わります。

次に、「10番鈴木英友議員」

○10番（鈴木英友議員） 冷温水発生機の更新工事についてお伺いします。

まず1つは、工事期間は来年の3月23日までとありますけれども、いつからなのでしょう。期間はいつから3月23日までなのか、まず、そこを1つお聞きしたいと思います。

あと、その工事期間中に、温水器が使えない期間、時期というのはあるのでしょうか。それが2つ目。

あともう1つが、もし温水器が使えない期間、時期があるのであれば、その対応はどうするのでしょうか。

以上、3点について教えてください。

○丹野貞子議長 「秋場生涯学習課長」

○秋場弘昭生涯学習課長 工期につきましては、3月23日までとしております。契約締結の日からということで、契約締結が昨日ですので、そこからの……、議決、本日の議決をもって契約ということになりますので、本日から3月23日までとなります。

使えない時期、いわゆるその対応ということでありますが、これから冷温水発生機等の機器等を発注しまして、実際の工事、いわゆる現在の冷温水発生機の機器の撤去作業、そして新しい機器を取り付けるというふうになります。1か月以上2か月ぐらいの工期はかかるであろうと聞いているところでございます。ですから、工期の3月23日以前、いわゆる1月から3月の間の中で、2か月程度の中での工期になるであろうということでお聞きしているところであります。

その間につきましては、全館暖房が必要になりますので、寒い中での貸館ができなくなりますので、事前に周知を図りながら使えなくなる期間をお知らせしながら、対応してい

きたいと思います。寒い中でも会議等をやりたいということであれば、そこは可能なんです。暖房が効かない状況になりますので、その数か月間、実際の工事を行う期間については館内の使用はできなくなるということになりますので、そこを周知を図っていききたいと思います。

○丹野貞子議長 「10番鈴木英友議員」

○10番（鈴木英友議員） ただいま説明を受けたところなんですけれども、契約期間ではなくて実際に工事を始めるのはいつからかと聞いています。そして、その工事期間中に、使えなくなる期間が2か月間であるという話なんですけれども、その間はそういう装置が使えませんよということを周知徹底して、なおかつ利用者の方には周知を徹底して使ってもらおうということですけども、果たして、行政、町として対応はそれでいいのでしょうか。何か、やはり工事期間中、そういう期間があるのであれば、何かしらの対策は取るべきなのではないかと私は思いますけれども、その点についてはどうなんでしょうか。

○丹野貞子議長 「秋場生涯学習課長」

○秋場弘昭生涯学習課長 実際の工期ということで、業者からは11月頃からはというような、11月から3月までの期間の中で工事を行いたいということですが、私どもとしては工事期間、実際の撤去作業に入って設置をする期間をできるだけ短い中で、館内、施設をできるだけ使えるような状況をつくりたいということで、今後協議をしていきたいと思えます。

なお、どうしてもホールに代わるものということでは河北町内ではありませんので、会議等、あるいは施設の中で利用したいところがあれば、団体についてはほかの町内の施設を紹介するなどして対応してまいりたいと思えます。

なお、できるだけ、工事の期間、短い中で利用者に負担にならないように心がけていきたいと思います。

○丹野貞子議長 「10番鈴木英友議員」

○10番（鈴木英友議員） ただ、例えば1月はまさに期間期に入るわけですがけれども、当町では1月に成人式を行っているわけですよね。サハトベに花で当然行うわけです。そういう大きなイベントもあるわけなんですけれども、その期間中もやはり冷温水機の湯は使えませんか、そういうことで対応するという事なんでしょうか。いろんなイベントがあると思うんですけれども、ほかにもっと対応する方法というか、そういうのはやはり検討していくべきだと思うんですけれども。そのときそのとき。どうでしょうか。

○丹野貞子議長 「秋場生涯学習課長」

○秋場弘昭生涯学習課長 年が明けてですが、令和8年1月11日、今成人式といいますか、はたちのつどいの開催を予定しているところがございます。工事期間内には入るのですが、業者との打合せの中で、町の事業として1月11日にははたちのつどいを開催するという事で、その期間はできるだけサハトベに花を使用したい旨を伝えております。ですから、1月11日以降で工事をできるようなことを、今想定というか、お願いをしながら進めていきたいと思っております。1月下旬、あるいは2月上旬等に常時サハトベに花のホール使用などを行っている団体等につきましては、これから周知を行い、使えない状況などを説明しながら対応していきたいと思っております。

○丹野貞子議長 以上で、10番鈴木英友議員の質疑を終わります。

次に、「12番細矢誓子議員」

○12番（細矢誓子議員） 私は、41号、42号の避難用ベッドと…。

○丹野貞子議長 すみません、今、議案第40号を

議論しております。

○12番（細矢誓子議員） すみません、大変失礼しました。

今の質問の提案の理由の中で疑問に思った点を質問します。避難用テント900台……。

○丹野貞子議長 すみません、細矢議員。

○12番（細矢誓子議員） ごめんごめん、すみません。間違えた、ごめんなさい。失礼しました。

○丹野貞子議長 冷温水発生機について。

○12番（細矢誓子議員） そうですよね、失礼しました。次の……。

○丹野貞子議長 なしですか。

○12番（細矢誓子議員） なしです、ごめんなさい。

○丹野貞子議長 はい。では、以上で質疑を終結します。

討論に入ります。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

採決します。

採決は、電子システムによる投票により行います。

本案を原案のとおり決するに賛成の方は賛成のボタンを、反対の方は反対のボタンをそれぞれ押してください。

（電子採決）

押し忘れなどありませんか。

（「なし」の声あり）

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成全員であります。

よって、議第40号河北町総合交流センターサハトベに花冷温水発生機等更新工事請負契約の締結については原案のとおり可決しました。

○丹野貞子議長 次に、議第41号災害用自動ラップ式トイレの取得についてを議題とします。担当課の説明を求めます。

「茂木防災危機管理課防災危機管理係長」

○茂木毅史防災危機管理課防災危機管理係長 議
第41号災害用自動ラップ式トイレの取得につ
いてご説明申し上げます。

去る7月25日、3者による指名競争入札を
執行しましたところ、山形市印役町五丁目7
番4号日本防災工業株式会社山形営業所所長
濱田善弘が落札し、1,173万1,500円で契約す
るものであります。納入期限は令和8年3月
19日としております。災害時の避難所におけ
る衛生的な生活環境の確保のため、取得する
災害用自動ラップ式トイレは30セットで、本
体のほか消耗品セット、ハンディーバッテリ
ー、手すり、簡易組立て式個室など附属品を
含め整備するものであります。

以上、よろしく願いいたします。

○丹野貞子議長 担当課の説明が終わりました。
質疑に入ります。

質疑の通告を求めます。

(3番、6番、7番、10番、12番通告あり)

3番、6番、7番、10番、12番。

確認します。3番林智議員、6番木村章一
議員、7番奥山英幸議員、10番鈴木英友議員、
12番細矢誓子議員、落ちありませんか。

それでは、「12番細矢誓子議員」

○12番(細矢誓子議員) ……。

○丹野貞子議長 細矢議員、マイクを入れて最初
からお願いします。

○12番(細矢誓子議員) ……。

○丹野貞子議長 暫時休憩します。

休 憩 午前9時19分

再 開 午前9時19分

○丹野貞子議長 休憩を解いて再開します。

○12番(細矢誓子議員) ごめんなさい、すみま
せん。

○丹野貞子議長 いいですか。では、ゆっくりお
願いします。

○12番(細矢誓子議員) はい。ラップ式トイレ

30セット、そのほか附属品と合わせての購入
という説明をいただきました。

先日も、カムチャツカ半島等の地震で津波
の被害とかいろんな情報が流れたときに、避
難所のいろんな様子を見たときに、やはり、
このトイレが一番快適な避難所になるため
には必要な道具だということの説明を私も聞
きまして、やはり、しっかりした、災害避難
時に亡くなるよりは、そのほかの避難所での
待遇が悪くて、そのほか病気になるで亡く
なられたという方が多いという話も聞きま
したので、そういうトイレの設備、これはと
ても重要なことだと思っておりますけれど
も、この使用方法等の周知などはどのように
考えていらっしゃるのか、まずその点をお聞
きいたします。

○丹野貞子議長 「茂木防災危機管理課防災危機
管理係長」

○茂木毅史防災危機管理課防災危機管理係長 使
用方法についてのお尋ねでございますけれ
ども、ラップ式トイレが納品になりましたら、
スムーズな避難所運営のために自主防災組
織であったり、防災士の方、あとは施設管
理の方にお集まりいただきまして、使い方
について、また配置場所等について訓練等
を行いたいと考えております。

○丹野貞子議長 「12番細矢誓子議員」

○12番(細矢誓子議員) やはり、避難所が開
設になった、避難してくださいという報
道があったときに、いち早く皆様が避難
なさったときに、トイレがね、使い方
というのが、やはり、そこで教える
のではなく、既にその場所に設置され
ていたら使えるという、そういうふう
な周知がとても大事なことだと思いま
すので、その点についてしっかり、教
えるための機会を設けてくださると
いいなと思っております。

これは、各避難所に設置されるんでしょ
う

けれども、設置される場所に何セットというのはもう既に計画はされているのでしょうか。

○丹野貞子議長 「茂木防災危機管理課防災危機管理係長」

○茂木毅史防災危機管理課防災危機管理係長 今回、購入いたします自動ラップ式トイレ30台でございますけれども、災害発生時の目安であります50人に1個という目安をまず確保しようということで考えているものでございます。

現在、既存の簡易トイレが54台ございますので、それと合わせまして84台になります。そちらのほうでその基準をまずは達成したいと考えているところでございます。

○丹野貞子議長 「12番細矢誓子議員」

○12番（細矢誓子議員） 今後30セット入れるので、54台と合わせて84台。各避難所が、例えば、小学校とか何かに設置されるんでしょうけれども、そのときに運んでくるんですか。既にそこに置いておくわけではなくて、避難所が設置されたときに搬送するという形を取られるわけですか。

○丹野貞子議長 「茂木防災危機管理課防災危機管理係長」

○茂木毅史防災危機管理課防災危機管理係長 備蓄の場所でございますけれども、現在町民体育館東側に新たな備蓄倉庫を建設することを進めております。そちらのほうにまずは配置をしたいと思っております。今後、分散備蓄といいますか、それぞれの場所、センターであったり小学校であったりというのは今後の状況を見つつ検討していきたいと考えております。

○丹野貞子議長 以上で、12番細矢誓子議員の質疑を終わります。

次に、「10番鈴木英友議員」

○10番（鈴木英友議員） 私のほうからも、もう1つ、12番議員と重複するところがあります

けれども、一度確認のために質問させていただきます。

こちらのほうで、30セット購入予定としたということですが、30セットとした根拠をもう一度お聞かせください。

あと、2つ目としまして、当初は備蓄倉庫に全部置いておくという話なんですけれども、ということは、個々の避難所に行くというのは今の段階では決めていないというふうに解釈してよろしいのでしょうか。

○丹野貞子議長 「茂木防災危機管理課防災危機管理係長」

○茂木毅史防災危機管理課防災危機管理係長 現在、町内の指定避難所でございますけれども、17か所になっております。収容可能人数、1人当たり2平米ということで積算しております。全体で6,090人ということで試算をしております。でありますけれども、プライバシーであったり、今回購入しますテントとかのスペースを考えますと、大体4,150ぐらいになるのではないかと今のところは想定しているところでございます。

そちらの人数から50人に1個ということになりますので、4,150人割る50人ということで83個、今54個ございますので差引き29でございますけれども30個購入するということで根拠としたところでございます。

あと、今回購入するものの配備ということでのお尋ねでございますが、今のところ長期的な避難所となります各センターであったり小中学校のほうに配備したいとは考えております。しかしながら、浸水想定域に含まれている箇所とかもございますので、まずは不安のない町民体育館のほうに備蓄をしたいというふうに考えておまして、開設する際にそこから移動させるというような方向で、今考えております。

○丹野貞子議長 「10番鈴木英友議員」

○10番（鈴木英友議員） ありがとうございます。基準がこうだからこれで30セットで大体基準どおりになるというような形だと思うんですけれども、災害時に備えての話ですので、これでよしとはせず、今後もさらに必要な場合とかもやってくると思いますので、その辺は柔軟に対応していただきたいと思います。これで、質問を終わります。

○丹野貞子議長 以上で、10番鈴木英友議員の質疑を終わります。

次に、「7番奥山英幸議員」

○7番（奥山英幸議員） 私のほうは、12番議員、10番議員とほぼ同じ内容でしたので、以上で終わります。

○丹野貞子議長 以上で、7番奥山英幸議員の質疑を終わります。

次に、「6番木村章一議員」

○6番（木村章一議員） これは、今回の議第41号、さらに42号にも関わる質疑でありますけれども、この備品が、大体河北町で装備すべきトイレとかテントといえますか隔離室といえますか、あとはベッドなどは、大体必要なぐらいそろうのかなというふうに思いますけれども、これを発注するに当たって、例えば、藍住町などが大きな災害を受けたとかそういうときに貸出しをする、そういったこともあり得るということを想定してのものなのか、それともそういったことは一切考えないというふうな備品なのか、どんなスタンスなのかお聞きしておきたいと思います。

○丹野貞子議長 「防災危機管理課防災危機管理係長」

○茂木毅史防災危機管理課防災危機管理係長 今回、国の交付金事業を活用して整備するものがございますけれども、その交付申請の中で、今回購入する資材を提供できるかというふうな調査項目がございまして、そちらのほうでは提供できるとお答えをしているところでご

ざいます。

○丹野貞子議長 ただいま答弁したのは「茂木防災危機管理係長」でした。失礼しました。

「6番木村章一議員」

○6番（木村章一議員） 分かりました。いざというときには貸出しもあり得るとような備品だという答弁と受け止めました。

以上、質疑を終わります。

○丹野貞子議長 以上で、6番木村章一議員の質疑を終わります。

次に、「3番林智議員」

○3番（林智議員） それでは、私のほうからも災害用自動ラップ式トイレの件についてお聞きします。

今回、30セットの購入の締結ということでありますが、この内容、先ほど30セットプラス消耗品や附属品という話がありましたが、このトイレ1セット当たり、ラップひと巻きで何人程度、何回程度利用可能なのか、また、この消耗品の中に交換用のラップが入っているのか、入っているのであれば1セット当たり何巻き程度ということになっているのか、中身のほうをお聞きしたいと思います。

○丹野貞子議長 「茂木防災危機管理課防災危機管理係長」

○茂木毅史防災危機管理課防災危機管理係長 消耗品としまして、密閉フィルムロール1本がセットとなっておりまして、約50回使用できることとなっております。今回消耗品セットということで300セットを購入することとしてございますので、1万5,000回使用できるということになってございます。

○丹野貞子議長 「3番林智議員」

○3番（林智議員） ありがとうございます。やはり、台数だけではなく、そういった回数という部分で、避難される人数掛ける回数ということをしっかり検討しながらの備蓄というのが一番大事なことになると思います

ので、その辺の検討のほうを、今後ともぜひ検討を重ねながら必要な部分の増蓄というか、増やすことをしっかり検討していただければと思います。

以上で質疑のほうを終わります。

○丹野貞子議長 以上で、3番林智議員の質疑を終わります。

以上で質疑を終結します。

討論に入ります。討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

採決します。

採決は、電子システムによる投票により行います。

本案を原案のとおり決するに賛成の方は賛成のボタンを、反対の方は反対のボタンをそれぞれ押してください。

(電子採決)

押し忘れなどありませんか。

(「なし」の声あり)

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成全員であります。

よって、議第41号災害用自動ラップ式トイレの取得については原案のとおり可決しました。

○丹野貞子議長 次に、議第42号災害備蓄品の取得についてを議題とします。

担当課の説明を求めます。

「茂木防災危機管理課防災危機管理係長」

○茂木毅史防災危機管理課防災危機管理係長 議第42号災害備蓄品の取得についてご説明を申し上げます。

去る7月25日、3者により指名競争入札を執行しましたところ、山形市印役町五丁目7番4号日本防災工業株式会社山形営業所所長濱田善弘が落札し、2,758万8,000円で契約するものであります。納入期限は令和8年3月19日としております。取得する災害備蓄品は、

災害時の避難所における生活環境を改善するため及びプライバシーを確保するための避難用テント片間仕切り2人用600台、1人用300台と、避難ベッド1,500台を整備するものあります。

以上、よろしくお願いたします。

○丹野貞子議長 担当課の説明が終わりました。

質疑に入ります。

質疑の通告を求めます。

(7番通告あり)

7番。

確認します。7番奥山英幸議員、落ちありませんか。

それでは、「7番奥山英幸議員」

○7番(奥山英幸議員) 私のほうからは、災害用のテント、ベッドの納入数についてお伺いします。避難用テントは900台、避難用ベッドは1,500台ということで、これの納入数の根拠、あとは納入方法、要は一括での納入なのかそれとも分散しての納入なのか。また、保管場所、先ほどから新しく保管場所を建設するという話があったんですけども、結構な数なのでそこに一括で保管するのか、やはり、分散して保管したほうがいいのではないかと思うのですがいかがでしょうか。

○丹野貞子議長 「茂木防災危機管理課防災危機管理係長」

○茂木毅史防災危機管理課防災危機管理係長 今回購入しますテント等につきましては、西里小学校、西里農村環境改善センター、溝延小学校、溝延研修センター、町民体育館、河北中学校、北谷地小学校、北谷地構造改善センターの8か所で使用することを想定してございます。

先ほども、トイレの中でもご説明させていただきましたけれども、テントの大きさ等を考えますと、テントの大きさであったり通路等の確保ということを考えますと、この8か

所で恐らく1,700人分ぐらいの収容となると想定してございます。現在、既に段ボールベッドであったり、パーティション類が200セットございますので、残りの1,500台を今回購入するというところで考えてございます。

納入方法でございますけれども、現在のところ一括で納入していただくことを想定してございます。

備蓄の方法でございますけれども、今建設しております備蓄倉庫につきましては、今回購入するもの全て納入できる大きさを確保してございます。そちらのほうに入れることで、今のところは考えているところでございます。

今後、場所場所の分散備蓄についても引き続き検討はしていきたいと考えております。

○丹野貞子議長 「7番奥山英幸議員」

○7番（奥山英幸議員） 再度質疑いたします。

この分散の保管については、災害が起きてから運ぶというよりも、やはり最初から想定して保管をしたほうが万が一の災害のときには迅速に対応できると思うのですが。再度伺います。分散の保管をするべきだと思いますが、最初からですね。いかがでしょうか。

○丹野貞子議長 「茂木防災危機管理課防災危機管理係長」

○茂木毅史防災危機管理課防災危機管理係長 町内の浸水想定域、それぞれ地区ごとに出ているわけでございますけれども、浸水すると想定されている避難所であったり備蓄倉庫がございまして。そちらのほうに仮に入れた場合、搬出するのがなかなか難しい状況になることも想定はされますので、まずは被害が想定されていない、浸水が想定されていない家屋、町民体育館のところの備蓄倉庫に入れたいというふうには考えているところでございます。

○丹野貞子議長 「7番奥山英幸議員」

○7番（奥山英幸議員） 議長、終わります。

○丹野貞子議長 以上で、7番奥山英幸議員の質疑を終わります。

以上で質疑を終結します。

討論に入ります。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

採決します。

採決は、電子システムによる投票により行います。

本案を原案のとおり決するに賛成の方は賛成のボタンを、反対の方は反対のボタンをそれぞれ押してください。

（電子採決）

押し忘れなどありませんか。

（「なし」の声あり）

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成全員であります。

よって、議第42号災害備蓄品の取得については原案のとおり可決しました。

○丹野貞子議長 以上で本臨時会に付議されました事件は全て議了しました。

これをもって、令和7年8月河北町議会臨時会を閉会します。

お疲れさまでした。

午前9時42分 閉会

~~~~~  
会議の経過を記載し、その相違のないことを証するためここに署名します。

令和7年8月

河北町議会 議長 丹野貞子

河北町議会 署名議員 安達智勇

河北町議会 署名議員 安孫子真弥

